

平成19年度上半期 所沢市の財政事情

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆さんの税金などによってまかなわれています。この内容をお知らせするのが「財政事情の公表」で、年に2回行っています。

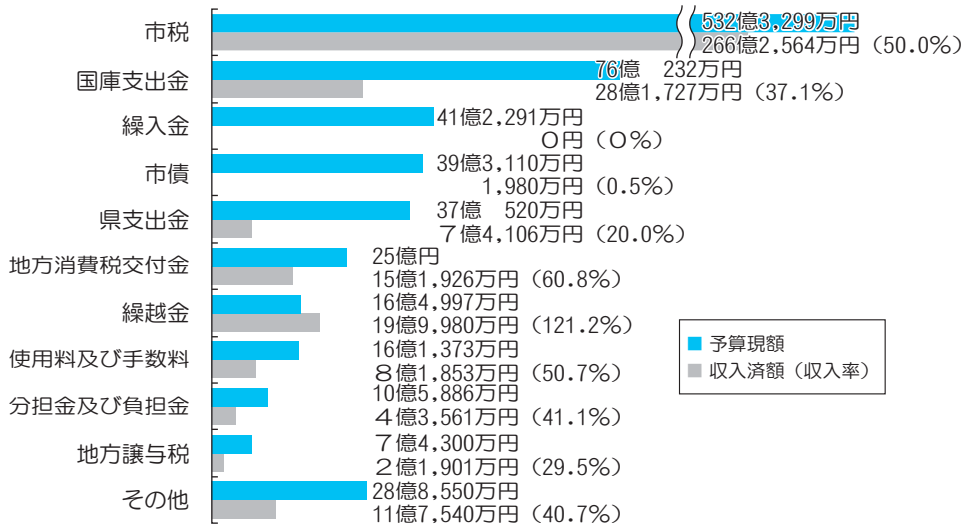
今回は、平成19年度上半期（4月1日～9月30日）の財政運営状況の概要をお知らせします。公表の詳細は、市役所4階・財政課、同1階・市政情報センター、および市ホームページでご覧になれます。そのほかにも「財務諸表」「財政のツボ」などの財政に関する資料を作成し、随時公表していますのでご覧ください。

※問い合わせ 財政課（☎2998-9030・FAX2998-9056）

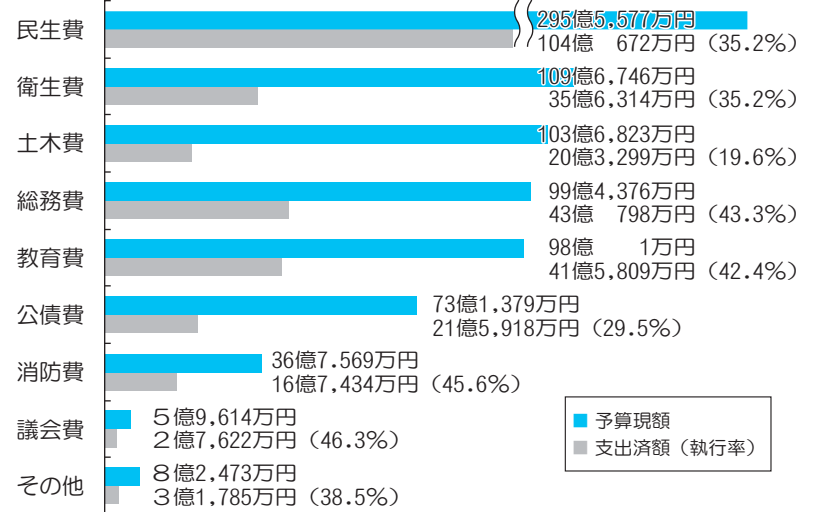
★数値はすべて平成19年9月30日現在です。（金額は1万円単位に四捨五入）

◆一般会計の執行状況◆

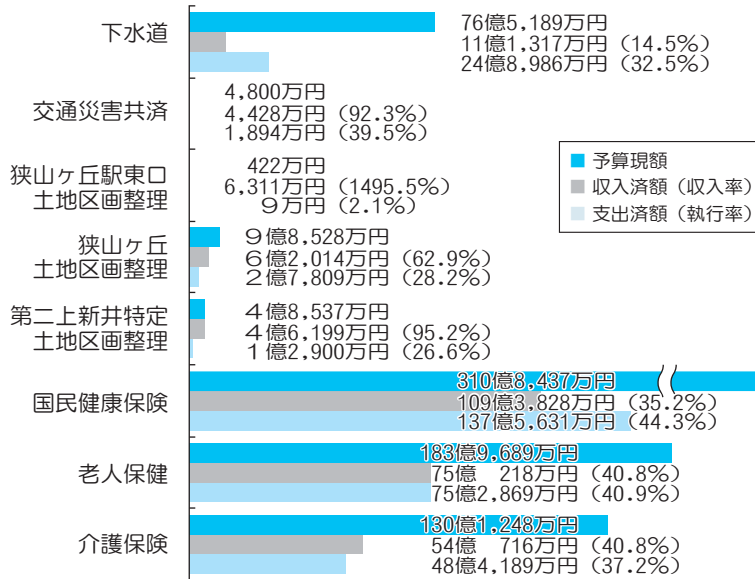
●歳入 予算現額 830億4,558万円
収入済額 363億7,138万円（収入率43.8%）



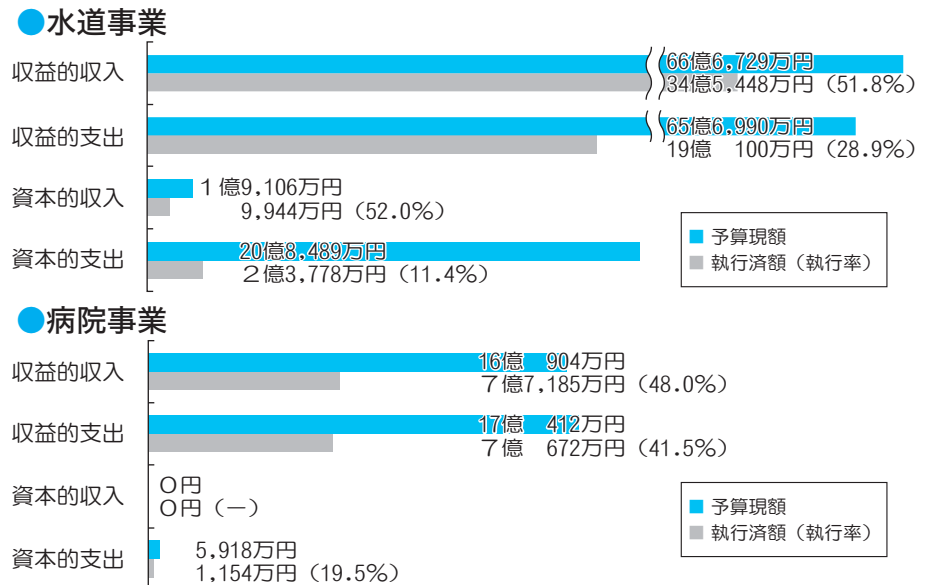
●歳出 予算現額 830億4,558万円
執行済額 288億9,651万円（執行率34.8%）



◆特別会計の執行状況◆



◆事業会計の執行状況◆



◆財産の状況◆

●市有財産の状況

土地	2,809,519.50㎡
建物	678,598.97㎡
基金	102億764万円

●基金の内訳

種別	現在高
財政調整基金	66億9,159万円
施設整備基金	10億277万円
緑の基金	7億4,158万円
介護保険保険給付費準備基金	5億7,875万円
中心市街地再開発整備基金	5億384万円
道路整備基金	3億9,766万円
土地開発基金	1億54万円
交通遺児奨学基金	7,264万円
福祉資金貸付基金	6,300万円
入学準備金貸付基金	2,600万円
小・中学生文化スポーツ振興基金	1,915万円
国民健康保険出産費資金貸付基金	1,000万円
国民健康保険保険給付費支払基金	12万円

◆市債の状況◆

●●どうして借入を行うの？●●

市債は、公共施設の建設などの財源として市が借り入れる長期の借入金です。道路、学校、公園などの多額の費用を必要とする公共事業は通常収入だけで実施することが困難なため、借入をすることが認められています。

また、道路、学校、公園などは長い年月使用するため、建設したときの市民の皆さんだけが費用をすべて負担するのではなく、「分割払い」にして、建設後に利用する市民の皆さんにも負担をお願いしています。

●●これからの見込みは？●●

一般会計の市債は、平成15年度をピークに東部クリーンセンター建設事業や市民体育館改築事業など大規模な事業が終了したことにより減少しています。恒久的な減税などによる財源不足を補うため、借入が認められている減税補てん債等は大幅に増加していますが、減税補てん債が平成18年度まで終了したことから、今後徐々に減少すると見込まれます。

特別会計の市債は、ほぼ横ばいで推移しています。

全体では、平成17年度と18年度を比べると約9億円減少しました。今後も徹底した事業の見直しを図り、計画的に借入と返済を行い、残高の縮小に努めます。

	目的	現在高
一般会計	施設建設や基盤整備のため	347億949万円
	減税や財源不足の補てんのため	311億8,389万円
特別会計	下水道整備のため	224億4,568万円
	区画整理事業のため	36億1,367万円

